

『新座稲門会便り』(N09)

新座稲門会会報(2014年12月号)

編集発行:新座稲門会幹事会

5市稲門会共同講演会開催

5市(新座、和光、朝霞、志木、富士見・三芳)稲門会の共同企画の講演会が8月16日(土)に、志木の「にいざほっとぷらざ」で開催された。

講演者には橋本斎氏(飛鳥建設)をお招きし、「南極大陸での非日常的な日常—南極観測を支える縁の下の力持ち—」という演題で開催された。

盆休みの真っ最中にも拘らず、50名近い参加者で盛大な講演会になった。



橋本氏は土木の専門家として、平成18年の第48次と平成21年の第50次日本南極地域観測隊に参加され、基地整備のための土木・建築工事(プレハブ建築基礎整備や道路整備など)に携わっていた。

講演は、南極観測の目的や実際の業務内容から始まり、普段聞けない興味ある話(南極ではウイルスが生存できないので風邪は引かないや、吐く息は白くならないなど)があり、講演の途中には、南極から持ち帰った氷を水の中に入れて全員試飲した。

この氷は、2~3万年前に降った雪が圧縮されて氷になったとのことで、空気が混入しているために透明ではなくて白濁していた。水に入れると氷が溶ける時に空気が出てシュワツという音がした。普段経験しないことで皆さん大変喜んでいました。

今後も、講演会以外にも5市共同の行事を企画していきたいと思っている(記:伊藤雅夫)

◆ 2015年 新年会のお知らせ ◆

1月31日(土) 午後1時半~3時半

場所:創作料理「旬」

西武池袋線 ひばりヶ丘駅北口 徒歩1分

会費:3500円 奮ってご参加ください。

商議委員会報告

2014年商議委員会が7月5日(土)に、大隈講堂で開催された。

商議員数は、評議員推薦商議員80人と校友会選出商議員920名の合計1000人であり、今回の商議委員会には全国から約800名が参加した。

日枝会長と鎌田総長の挨拶に始まり、大学財務報告が大塚常任理事からあった。

大学の学生数は56,749人、教職員数は6,694人であり、収入は1,009億円で支出は943億円である。

次に、学事報告として梅津理工学術院教授から、「先端医療を創造する—TWinsの挑戦—」という演目での講演があった。

梅津教授は理工学部機械工学科の出身で、医療機器開発に学生時代から携わっており、2008年3月に東京女子医大と共同で、先端生命医科学センター(TWins—Tokyo Women's—Waseda Joint Institution for Advanced Biomedical Science)を創設して、人工心臓などの医療機器製品実用化の研究開発を行っている。

可能であれば、梅津先生の講演を5市共同で開催したいと思っている。(記:伊藤雅夫)

◆ 戸田マラソン in 彩湖2014 ◆

11月16日、恒例の「戸田シティマラソン」が開催されました。今年は2名のみでの参加でしたが、気持ちの良い青空の下、久しぶりのハーフマラソンチャレンジにもかかわらず楽しく走ることが出来ました。

◆ 第4回早稲田駅伝 ◆

12月6日、昨年までの国立競技場から夢の鳥競技場に会場を移し、盛大に開催されました。

今年は和光・富士見・朝霞など近隣稲門会の仲間と共に、なんと4チーム20名での参加!初めて会うメンバーもたすきを繋いで一体となって盛り上がりました。



ランニング同好会 担当:秋浦良子

早稲田大学馬術部活動報告

63年振りに争覇戦優勝

私が馬術部に入部したのは、大学2年の春でした。当時部員が減少しており馬の世話をする男手が足りず、当時の主将に猛烈な勧誘を受け、入部を決めました。私としては展覧会に出す馬の絵を描きただけなのですが、入部してみると馬の世界に引き込まれ、こんなに面白いスポーツがあるのか、今までなぜ知らなかつたのだらうと思うようになりました。そんな私が4年のときには主将を務め、現在は大学の馬術の講師として馬を教えることになるとは夢にも思いませんでした。以来、明治や日大、専修という大学が君臨する馬術界で、早稲田の名をとどかせようと、さまざまな活動をしてきました。そして、今年早稲田大学馬術部は63年振りに争覇戦で優勝。決勝で4-1で日大を破ったことはまさに快挙です。争覇戦は、同じ馬にそれぞれの大学の選手が騎乗して、勝敗を1対1で決めていく、剣道の団体戦のような試合です。それだけに選手の技量が大きく左右する試合です。早稲田からは1年生も出場して活躍しました。頼もしい限りです。早稲田のスポーツという陸上、野球、ラグビーがメイン競技ですが、今年のアジア大会では早稲田のOGの佐藤泰がアジア大会の総合馬術で銀メダルを獲得するなど、馬術も早稲田のメインスポーツに名乗りを上げております。ぜひ注目してください。

11月の全日本学生では障害で団体3位。もう一つ上を狙っていただけに、残念な気持ちもありますが、今後の馬術部の飛躍を予感させる試合だったと思います。馬術部は毎朝7時に集合、馬房の掃除をして、午前中に騎乗、10:30に昼飯をつけ大学生は解散。午後は早実の馬術部が変わりに騎乗して夕飼いを5:00につけます。夜は止まり当番が9:00に夜飼いをつけ、翌朝5:00に朝飼いをつけるというスケジュールで活動しております。東伏見の馬場で毎日活動しておりますので、ぜひ遊びに来てください。馬糞の肥料の無料でお持ち帰りいただけます。ご希望のかたは倉田まで連絡ください。

(kurata-tam@nifty.com)



早稲田大学馬術講師・画家 倉田孝之

大学近況(2014年4月~12月)

◆一昨年の3月より建設中だった「早稲田大学中野国際コミュニティプラザ」が去る3月6日に竣工しました。同プラザは地下1階、地上11階。1階にはエクステンションセンター中野校が、2階~11階には、日本人学生と外国人留学生とが共生する国際学生寮「Waseda International Student House」(通称 WISH、収容人員 872 名)が入ります。

◆劇団「早稲田小劇場」発祥の地で、多くの学生たちが演劇に励んでいた劇場「どらま館」(2012年閉館)跡地に、新たな劇場施設「早稲田小劇場どらま館」が来年4月に開設。

◆学生アスリートの育成プログラム「早稲田アスリートプログラム(WAP)」を、すべての体育各部部員(44部・約 2400 名)を対象に 2014 年度より実施しています。WAP では組織的かつ統合的な教育プログラムを提供し、標準修業年限(4年間)での卒業を促すとともに、体育各部部員の「文武両道」を高いレベルで実現します。

◆本学は、JASSO(独立行政法人日本学生支援機構)の協定等に基づく2012年度の日本人学生派遣数が1612人で、2年連続1位となりました。また受入れ(外国人)留学生は3899人で2009年以降、連続1位です。昨年策定した中長期計画「Waseda Vision 150」では、受入留学生数を現在の倍以上の10000名まで、また全学生を留学させるなど高い数値目標を設定し、アジアのグローバルユニバーシティをめざし国際化を推進しています。

◆2013年度卒業者の就職状況。最終的な就職率(就職希望者に占める就職者の割合)は94.7%となりました。

◆旧3号館の景観継承を意識し、旧館南側部のエントランス部分を再現し、鉄製扉を再利用するなど、外観を再現した新3号館が9月18日、竣工しました(地下2階、地上14階、高さ67.84m)。1階には生協が運営するセブンイレブン店「WaSeCo」が開店しました。

◆文部科学省は、過去5年間(2010~2014)の科学研究費助成事業(以下科研費)の新規採択件数について、分野別に上位10研究機関を公表(2014年10月10日)し、本学は主に人文・社会系の10分野で1位となりました。これは私立大学ではトップであり、国立大学をあわせた全研究機関の中でも7位となっています。

大学近況(2014年4月～12月) (続き)

◆アディダス ジャパン株式会社(以下、アディダス)との連携による『早稲田スポーツオフィシャルパートナーショップ』が、早稲田キャンパス小野梓記念館(27号館)1Fに10月19日(日)にオープンしました。

◆現鎌田薫総長(法学学術院教授)の任期満了(2014年11月4日)に伴う総長決定選挙(信任投票)を6月12日に行い、鎌田総長が再任されました。任期は2014年11月5日から2018年11月4日までとなります。

◆平成26年度スーパーグローバル大学等事業スーパーグローバル大学創成支援トップ型(タイプA)に採択されました。トップ型(タイプA)は世界の大学ランキングでトップ100を目指す力のある世界レベルの教育研究を行う大学を対象に文科省が制度改革と組み合わせ重点支援を行うものです。

◆杉並稲門会創立15周年記念祝賀パーティー◆

杉並稲門会創立15周年記念祝賀パーティーが11月21日(土)に、リーガロイヤルホテル東京で開催され、招待を受けて参加した。

鎌田総長も参列され、杉並稲門会以外の都内各稲門会と埼玉からは私と志木稲門会の寺内幹事長も参列し、総勢350名近くの多数の参列者で盛会であった。

パーティーに先立ち、篠田正浩映画監督の講演があったが、映画の話ではなくて、1950年の箱根駅伝で2区を走り、準優勝になった時のエピソードであった。

杉並稲門会は、設立当初の会員数は210名であったが、現在は600名を超す大所帯となっている。

ブロックを7つに分けて、それぞれ幹事を決めて独立で活動を行っている。

趣味の部会(ゴルフ、食べ歩き、ハイキング……)が15近くもあり、活動の多さにはびっくりした。今後は、杉並稲門会とは色々な分野で定期的な交流を深めていきたいと思っている。

(記:伊藤雅夫)

北海道より(苫小牧稲門会の紹介)

～現在北海道に仕事で赴任中の会員から頼りが届きました～

北海道に単身赴任して、3度目の冬を迎えようとしています。

勤務地が苫小牧なので、苫小牧稲門会にも参加しています。人口は、新座市とほぼ同じの17万5千人、面積は、なんと新座市の24.6倍の561.6Km²で、北海道で5番目の市です。苫小牧港の輸出入の規模は、道内1位、全国4位で、製紙業、石油備蓄等を主とする工業都市で、ホッキ貝の水揚げが多いことでも知られています。苫小牧稲門会のメンバーは、地元の方や、単身赴任で苫小牧に来られている方が会員となっています。

特徴は、人数も少ないことから慶応と仲良くやっているので、苫小牧商工会議所の会頭が慶応出身、副会頭が早稲田出身者となっています。

主な活動は、①新年会を樽前山の日帰り温泉で実施＝温泉に浸かり、宴会をして帰る

②三田会とのゴルフ対抗戦(2回/年)上位5名のスコア(Wペリア)で対戦、勝った

方が賞金を獲得、場所を移して懇親会 ③総会 ④忘年会 その他早稲田のスポーツ・音楽関係のクラブが、遠征してきたときの支援等を行っています。

最後に新座稲門会の皆様、北海道へ旅行の際は、一度お立ち寄り下さい。(記:篠原)

◆5市会長懇談会について◆

朝霞の西森会長から、新座、和光(慶田会長)、朝霞、志木(一ノ倉会長)、富士見・三芳(高橋会長)の五市会長が集まって、稲門会運営にあたっての情報交換や意見交換などを、ざっくばらんに話をする機会を設けようとの話があり、「五市会長懇談会」と称して5月12日、7月16日、11月6日と3回集まった。

五市とも何らかの活動をしているものの、単独では活動が活発化してないとのことであった。そこで、今まで実施した2回の講演会のように、五市共同で実施できるようなイベントがないかを話し合い、何件かの候補が上がった。今後、これらを五市幹事長会で検討して貰おうとの話になった。

(記:伊藤雅夫)

新座稲門会 2014 年 その他の活動報告

●新座稲門会新年会 2014. 1. 25

2014. 1. 25 (土) 午後 1 時から恒例の新座稲門会新年会がひばりが丘「旬」で開催されました。

参加人数は 23 名。人数的にはちょっと少なめですが、でも皆さんよく集まってくれました。新座稲門会の集まりは、講演会や五市合同イベントなど志木等市内北部で実施されるケースが多いですが、新年会だけはひばりが丘でというパターンが定着してきました。

今回は小見野副会長が欠席だったので、恒例のギターによる合唱はありませんでしたが、いつもの通り全員による近況報告、ビンゴによる景品抽選会(※)、校歌斉唱などで今年も年初から大いに盛り上がりました。

(※) 前年の稲門祭グッズの残りなどを利用しています。

この後、10 人ほどが恒例の二次会「カラオケ大会」になだれ込み、皆さん自慢のものを披露。しかし、カラオケってすぐに時間がたちますね。それにしても、新座市にもご当地ソング「武蔵野恋歌」なるものがあつたなんて全く知りませんでした。

[文：細川]

●たけのこパーティー 2014. 4. 26

当会小見野副会長から、4/26 (土) に「春爛漫！旬の味と音の饗宴」を開催するが、午前中はひばりヶ丘の「HANARE ひばりヶ丘」にて「筍(たけのこ)パーティー」をするので、皆さんお誘い合わせの上お越しくささいとの連絡を受け、急遽、新座校友の皆さんにメールをして参加者を募りました。

ショートノーティスだったので新座稲門会からの参加者は結局 4 人でしたが、採れたて(小見野邸で採れたもの含め)はやはり旨いです。小見野さんのギターを聞きながら、盛りだくさんの筍尽くしの料理に舌鼓をうち、おなか一杯になったと

ころで、皆でラミネーターを使った押し花作りを楽しみました。童心に帰って、とても面白かったです。[文：細川]

●2014 年度新座稲門会総会 2014. 7. 5

2014. 7. 5 (土) 午後 4 時から、早稲田大学理工学部理工カフェテリアに新座の校友 20 名が集まり開催されました。議案はすべて原案通り可決いたしました。といっても、決算や活動報告などお決まりの内容で、執行部(幹事)も変わらずなので特に真新しいものはありません。ただ、もう少し全員で参加できるイベントを増やしたいという意見が出ていました。

懇親会の部は、人数は少な目(20 名程度なので)でしたが、一塊になって盛り上がりました。小見野副会長(ギター)はじめ皆さん芸達者ぞろいで、今回、佐藤菜穂子さん(上海稲門会から特別参加)の三線による素晴らしい演奏と歌も加わりあっという間に時間が過ぎました。

[稲門祭記念品販売協力について]

校友会から協力要請のあつた稲門祭記念品販売の件、今年は 20,000~30,000 円と予想していましたが、「記念品類は確かに魅力あるものばかりとは言えません。しかし、メインは寄付をすることにあり、寄付によって、もれなく一定の品物がついてくる、とご理解いただきたい」という担当の柴田幹事の口上が奏功し、おかげさまで、66,000 円もの売り上げになりました。(ご参考：新座稲門会が頂いた今年の目標数字は 60,000 円でした[勿論、これは強制ではなくあくまで目標数字です])

この稲門祭記念品、例年、校友会全体では 2 千数百万円の売上金額になりますが、この売上金の約半分は、『校友会奨学金』となり、現役学生を強力にサポートすることになります。ご協力いただきました皆様ありがとうございました。[文：細川]

●東伏見スポーツフェスタ 2014. 9. 15

9/15（祝・月）に早稲田スポーツフェスタ in 東伏見が開催されました。

この催しは、日ごろからお世話になっている地域の皆様、西武沿線の皆様、早稲田スポーツを支えていただいている皆様への感謝の気持ちを込めて開催されるというもので、早稲田大学体育会系の各部による各種スポーツ体験教室、スタンプラリーなど、見たり、実際に体験したりするプログラムが多数用意されています。

馬術部を指導されている倉田幹事から案内をいただきましたので、実家も近いことからちょっとのぞいてきました。

当日はゲストに野球の小宮山悟さん〔野球部OB〕、アナウンサーの植村智子さん（応援部OB）が招かれ、親子連れ、ちびっこ達で大変にぎわっていました（来場総数約5,000名）。

私は馬術（乗馬体験）コーナーで、馬術部員からこれをお持ちになれば幸せになれるですよと言われ、お土産に馬の「蹄鉄」を買いました。どうか幸せになれるように！（祈）。[文：細川]

●秋季代議員会 2014. 9. 27

2014年9月27日（土）、大隈会館で秋季代議員会が開かれました（当日の出席者は600人程度）。新座稲門会からは細川が出席しました。

議事は、①2013年度決算承認の件、②早稲田カードの一般カード本人会員年会費の無料化サービスの件、③教職員校友の適用範囲の件、④推薦校友候補者承認の件で全て提案通り承認となりました。

報告事項としては①vision150特別委員会設置の件、②賛助代議員名称贈呈の件、③代議員・支部長等異動の件、④校友会名簿作成・閲覧・販売サービス廃止の件、⑤2014稲門祭（への積極的参加）の件が報告されました。

その他、依頼事項として「WASEDA'S Health Study」

への参加者がきわめて少なく再度協力の要請がありました。

鎌田総長から、①新司法試験合格者数で早稲田大学がトップになったこと、②スーパーグローバル大トップ型[13校]に私立大学から早稲田と慶応の2校が選ばれたこと、③政経学部の新3号館(14階)が完成したこと。

などが紹介されました。新3号館は3階までは旧校舎が残り、その横に新校舎が造られていて、まさに伝統と未来の調和を感じさせる趣きとなっていました。

鎌田総長への、中野国際コミュニティプラザに関する質疑で「留学生は韓国人、中国人ばかりが目立つ。もっと欧米系の留学生を増やすべきではないのか」との意見がありましたが、これに対しては、鎌田総長は「もっと実態をしっかり把握してから発言してほしい。留学生は全体的に増えており、(欧米系にも積極的に働きかけており)欧米系留学生も増えている。院生は、結果として韓国や中国が目立っているかもしれないが、彼らは本当に優秀である。授業は英語で彼らの共通言語は英語である。この中で日本人学生も彼らについて行こうと必死になって頑張っている。こうした環境の中でグローバルな日本人を一人でも多く育てるとするのが狙いである。どうか(狭い料簡を捨て、)もう少しグローバルな視点で見てほしい」という趣旨のことをしっかり答えておられました。私も院生の留学生を何人か知っておりますが、本当に「超、優秀です。鎌田総長の発言はもっともだと思いました。

この後、大隈ガーデンハウスに場所を移し、懇親会が開催されました。[文：細川]

久しぶりの「稲門会だより」のお届けになってしまいました。慣れないwordに悪戦苦闘。お読みづらい点はどうかご容赦下さい。今後スキルアップを目指し、お届けできるよう頑張ります。(編集：秋浦)